

平成 22 年度 かながわ森の町内会事業 業務評価書（自己・相互）

1 成果に関する評価について

（1）設定目標は達成できたか

事業初年度である平成 22 年度は、30 社以上の企業等から、かながわ森の町内会事業に賛同をいただくことを目標に取り組んだ。

平成 23 年 1 月末日において、既に 34 社からの賛同を得られており、設定目標を達成することができた。

（2）効率的・効果的に対応できたか

効率的・効果的な対応が図られた。

（3）協働実施したことで、どのような効果があったか

企業庁にとっては、森の町内会活動に関する経験不足を、環境 NPO「オフィス町内会」の豊富なノウハウにより補い、事業初年度から円滑な事業運営を図ることができた。

また、環境 NPO「オフィス町内会」にとっては、神奈川県における知名度の不足を、神奈川県企業庁が県内企業等よりいただいている信頼により補い、事業初年度から円滑な事業運営を図ることができた。

2 協働の進め方等に関する評価について

（1）対等な関係を保持できたか

対等な関係の保持が図られた。

（2）プロセスは共有できたか

プロセスの共有が図られた。

3 役割分担に関する評価について

（1）役割分担は適正だったか

概ね適正であった。

4 今後の課題と対応について

(1) 今後の課題

ア サポーター企業等の確保

かながわ森の町内会事業に賛同していただいた企業等に、今後も継続して信頼していただくとともに、新たな企業等に、より多くの賛同をいただくため、さらなる工夫に努める必要がある。

イ 間伐対象森林の拡大

間伐を実施する対象森林の拡大に向け、本事業に賛同する県内の森林組合等と、環境NPO「オフィス町内会」の持つノウハウを活用し、さらなる工夫に努める必要がある。

(2) 対応

かながわ森の町内会事業に賛同していただいた企業等からの信頼とともに、今後の本事業の発展を推進するため、平成22年度の間伐支援費により実施した対象森林において、「かながわ森の町内会事業 現地報告会（仮称）」等の実施を検討する。